

郷土資料館をご活用ください！

1. 見学する。(3つの施設があります。)

○郷土資料館(平成5年4月1日設置)

展示内容：別海町の歴史・自然が中心

- 第1展示室(考古・自然・農業・漁業・水産・林業・生活・行政(北方領土)の各コーナー)
- 第2展示室(写真で見る町の歩みなど・アイヌ文化について)

○附属施設加賀家文書館(平成12年7月1日設置)

展示内容：江戸時代末期の当町の様子が書かれた「加賀家文書」が中心、古文書、生活資料の展示のほか、映像、PCによる展示解説・資料検索システムなど

- 開館期間：通年
- 開館時間：午前9時から午後5時
- 休館日：毎月第2、第4月曜日及び毎月第1、第3、第5日曜日
毎土曜日(第2、第4土曜日は除く。)
国民の祝日に関する法律
12月29日から翌年1月6日まで(前号に掲げる日を除く。)
- 観覧料：郷土資料館+附属施設加賀家文書館
一般350円・団体280円(10名以上)
高校生以下無料

○豊原分館(旧豊原小学校)(平成28年4月1日設置)

所蔵資料と展示内容

- ①郷土資料館所蔵資料の収蔵展示(総資料数1,024点)
自然・考古・生活・農業・漁業資料。
- ②根釧パイロットファームなど展示関係(総資料数286点)
別海町の農業の変遷、根釧PF関係写真資料等
- ③根釧パイロットファーム開拓資料館(D型ハウス)(総資料数196点)
根釧PFに関連する農機具、生活資料など。

- 開館期間：5月～10月
- 開館時間：午前10時から午後4時
- 開館日：毎月第2・4金曜日・毎月最終日曜日
- その他：団体見学・調査研究を目的とした来館については、開館日以外でも対応いたしますので、ご連絡下さい。
- 観覧料：無料

2. 資料を借りる

郷土資料の有効的活用を図るため、可能な限り資料の貸し出しを行っていますので、地域行事等で郷土学習にご活用ください。※「昔体験セット」詳しくはホームページにて。



3.歴史や自然のお話を聞く（出前講座）

郷土学習のさらなる推進のため出前講座を開設しています。地域行事等様々な場面でご活用ください。

メニュー一覧

（1）「昔々のべつかい」

先史時代の様子のお話や、各種体験活動を通して別海町の古代を紹介します。

①講話 ②体験活動（土器・勾玉づくり(材料代が500円程度かかります。)・火おこし③遺跡見学

（2）「幻の町キラクを探る～野付通行屋跡遺跡の発掘調査から」

江戸時代の野付半島の様子を野付通行屋跡遺跡の発掘調査の成果を交えて紹介します。

（3）「加賀家文書とは？～江戸時代のべつかい」

江戸時代の別海町の様子を加賀家文書などの史料によりやさしく紹介します。

（4）「西別川の献上鮭」

寛政12年（1800）から行われた西別川の献上鮭製造について紹介します。

（5）「アイヌ文化-チャシ跡と別海アイヌの人々-」

床丹1チャシ跡の発掘成果をもとに、中世・近世の別海アイヌの様子を紹介します。

（6）「根釧パイロットファームについて」

酪農近代化の先駆けとなったパイロットファーム事業について紹介します。

（7）「化石にふれよう」

野付半島沖で発見されたマンモス臼歯化石のお話や化石のレプリカ作りが体験できます。

（8）「巣箱づくり」

巣箱作りを通して、野鳥に対する理解を深め、子育てなどの観察方法を紹介します。

（9）「松浦武四郎が見た別海町」

幕末の別海町の様子を北海道の名付け親の松浦武四郎の記録から紹介します。

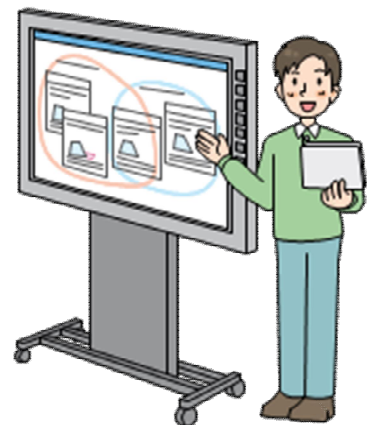
（10）べつかい缶詰物語

明治初期に本別海に建てられた缶詰工場を紹介します。

（11）別海町の文化財や文化遺産について

国史跡旧奥行臼駅跡をはじめ別海町の文化財や文化遺産について紹介します。

※その他メニュー以外のものでご希望がありましたらご連絡ください。



別海町郷土資料館だより No.321

発行日 令和8年4月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

編集後記

新年度がはじまりました。今年も様々な事業を行い、町の歴史や自然を発信していきたいと思えます。

当館は、見学だけではなく地域に出かけ出前講座などを行っています。詳しくはお電話にて。